

長門商工会議所中小企業景況調査速報

(令和6年10～12月期状況、令和7年1～3月期見通し)

令和7年3月調査分

令和6年3月に認定を受けた「小規模事業者経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的発展のため経営実態やニーズ把握を重視し、個別事業所の経営状況分析の基礎データとして活用することを目的に地区内の事業者169社を対象に景況調査を実施しました。

I. 調査概要

- 調査方法 郵送、聞き取り
- 調査対象先 長門商工会議所管内の中小企業169社
- 有効回答企業の内訳 43社 回答率25%

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	計
回答数	9	5	3	9	17	43
対象事業所	24	23	10	38	74	169
回収率	38%	22%	30%	24%	23%	25%

II. 調査結果

総 括 業況DI来期見通しが前回調査比でおおむね悪化、採算DIは全体的に見るとわずかに改善傾向にある。仕入単価DI、経営上の問題点の人員費や各種経費の上昇項目は高止まり傾向でおおむね横ばい、引き続き厳しい状況が続いている。

建設業	前回調査比で売上DIが悪化した。他の業種でもそうだが、DXという概念が浸透しておらず返答に窮する様子が感じ取れた。
製造業	従業員DIが大きく減少し、経営上の問題点の従業員の確保難が順位を上げた。新商品開発を検討する事業所はいくつかあるものの、新商品発表会の参加希望に至っていない。
卸売業	積極的な設備投資が行われている。問題点として、「原油高・円安・物価高騰による経営への影響」が上昇しており、世界情勢を反映した結果となっている。
小売業	従業員が減っているのに人員費の増加が経営上の問題点で1位を維持している。採算DI、業況DIの当期、来季見通しともに引続き停滞している。
サービス業	採算DI、業況DIともに前回調査比で改善した。全体的にわずかながら改善している。

				
特に好調 (50以上)	好調 (25以上50未満)	まあまあ (0以上25未満)	不調 (△25以上0未満)	きわめて不調 (△25未満)

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し
売上										
DI値	△ 17	△ 28	30	10	50	△ 17	11	△ 22	24	9
仕入単価										
DI値	67	83	50	30	83	33	44	22	62	65
採算 (営業利益)										
DI値	0	△ 6	0	0	33	△ 50	△ 39	△ 56	18	6
従業員										
DI値	△ 6	11	△ 20	△ 40	17	△ 17	△ 28	△ 11	△ 3	△ 21
業況										
DI値	6	△ 6	0	△ 10	17	△ 50	△ 6	△ 28	18	3

※DI (DIFFUSION INDEX 景気動向指数):各調査項目において「増加(好転)」と回答した企業割合から「減少(悪化)」と回答した企業割合を差し引いた値

新規設備投資

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	11%	20%	33%	22%	18%
計画している	22%	40%	67%	33%	29%

経営上の問題点(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	材料価格の上昇 (前回1位)	原材料価格の上昇 (前回1位)	仕入単価の上昇 (前回1位)	人件費の増加(前回1位)	材料等仕入単価の上昇(前回2位)
2位	熟練技術者の確保難 (前回2位)	特に問題がない (前回3位)	需要の停滞 (前回2位)	仕入単価の上昇 (前回2位)	人件費の増加 (前回8位)
3位	人件費の増加 (前回6位) 従業員の確保難 (前回3位)	従業員の確保難 (前回5位)	原油高・円安・物価高騰による経営への影響(前回3位)	人件費以外の経費の増加(前回4位)	人件費以外の経費の増加(前回6位)

III. その他調査

業務のDX化の予定について

	建設業	卸売業	小売業	サービス業
既に行った	22%	0%	11%	6%
予定がある	0%	0%	11%	12%
行わない	11%	67%	33%	24%
分からない	67%	33%	33%	29%

- LPガス通信機器設置による自動検針及び配送の合理化
- 勤怠管理システム
- オンライン会議、書籍の電子化
- ハガキのDMをSNSに変更

新商品を作られていますか？

	製造業
開発済	0%
検討している	40%
検討していない	0%
その他	20%

新商品発表会参加について

	製造業
参加する	0%
参加しない	40%
開発したら参加する	0%
その他	20%

IV. その他意見

- 建設業は入札が困難につき、兼業売上で頑張っています
- 気温変動、原材料、燃料等の価格上昇による売上への影響がある。
- 需要の停滞により売上が減少している。
- 卸売業以外で頑張っております(社長の営業パワー)
- 魚種が少ないため、売る商品が限定され、売上に繋がらない。
- 年々経費が増加しており利益を圧迫する形となっている
- 顧客の節約志向が依然として続いている
- 売上は前年比増収するも人件費増加により当期利益は減益
- 新規顧客が確保できたため今年度は売上増の予定、来年度以降もこのまま維持していきたい
- 天候の悪化による売上の減少
- 訪日外国人等の新幹線利用が好調な反面、長門市駅発着のJR利用は前年並み
- 水道光熱費、仕入材料の高騰に尽きる
- 例年に比べ、居住用アパートの動きが鈍い